

哲学なくしてユネスコなし。今、哲学しよう

— 11月第3木曜日は、ユネスコの「世界哲学の日」 —

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：毎年11月第3木曜日は、ユネスコ、つまり国連教育科学文化機構が定めた「世界哲学の日」だそうですね。

A：(1)はい、その通りです。2016年は、11月第3木曜日は17日が「世界哲学の日」でした。

(2)この「世界哲学の日」にちなんで、開倫ユネスコ協会では東京の青山学院大学の前にある国連大学のエリザベスサンダース国際会議場をお借りして、「世界哲学の日」講演会を行いました。テーマは、「哲学なくしてユネスコなし。今、哲学しよう」でした。120名以上の方々に御参加いただき、「今、哲学しよう」について熱心に話し合いました。

Q：ところで哲学とは何ですか。

A：(1)岩波国語辞典には、このような説明があります。

哲学(てつがく)

人生、世界、物事の根源のあり方・原理を理性によって求めようとする学問。また、経験からつくりあげた人生観。

▼ギリシャ語の *philosophia* (知への愛) の訳語。「哲」は叡智^{えいち}の意。

(2)「人の考え方には、大きく分けて科学と哲学がある。科学はこの世界の中で、私たちに対象としてあらわれるさまざまなものごとを客観的に考察し、その仕組みや法則性を明らかにする。科学は客観的な観察データによって、自らの結論を検証し、裏付ける実証性をもつ。一方、哲学は私たちがそのようなものごとに出会う場所となるこの世界や人生が全体としてどのような意味や価値をもつかについて思索^{しそく}する。

哲学の真理は、客観的な既成の知識として学べるものではなく、一人ひとりが思索しながら、人生の真理を明らかにすること、つまり哲学する主体的な行為を通して明らかになる。これからは、先人の思索の跡をたどりながら私たちの人生について、哲学してみよう」

以上、小寺聡編「もういちど読む山川倫理」2011年4月10日刊17～19ページより引用

Q：前文の最後に、「先人の思索の跡をたどりながら私たちの人生について、哲学してみよう」とあります。そこで、古代ギリシャではソクラテスやプラトン、アリストテレスなどの思想家が、また、古代中国では孔子や孟子が何を考え、何を行ったのかを勉強するのですね。

A：その通りです。

(1)古代ギリシャで、ソクラテスは「善く生きること」、プラトンは「理想を求めて」、アリストテレスは「幸福と習慣」について思索をめぐらせ、哲学をし、行動しました。

(2)古代中国で、孔子は「思いやりの心(仁)」を、孟子は「性善説」「仁義の徳」に基づいて「易姓革命」を説き、行動しました。

Q：孟子の「易姓革命」とは何ですか。

A：「孟子は、権力によって民衆を支配する政治を覇道と呼んで否定し、仁義の徳によって民衆の幸福をはかる王道を政治の理想とした。そして、横暴な王が民衆を苦しめれば、天命が革まり(革命)、民衆の支持を得た者が新しい王となって暴君を追放・征伐(放伐)し、新しい国家をつくって王朝の名が変わる(易姓)という、易姓革命の思想を説いた。民衆の支持を得た新しい指導者が横暴な王を討ち、新しい王朝を打ち立てることは、天意に適うことであると正当化する易姓革命の思想は、孟子の独得の政治思想である」

以上、小寺聡編、前掲書 47 ページより引用。

Q：昔の人は、結構過激ですね。

A：(1)はい。明治維新や明治時代を牽引した吉田松陰や福澤諭吉をはじめ幕末の武士や町民たちは、孔子の論語と孟子など中国の古典にはすべて空で言えるほど慣れ親しんでおり、孔子や孟子の哲学に基づいて自分たちなりに思索を深め、様々な行動をし、日本の基礎を築いたといえます。(2)ユネスコ(国連教育科学文化機構)も、大戦の惨禍の経験に基づき、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」という哲学をユネスコ憲章に短いことばでまとめ上げ、平和への取り組みを行っています。「哲学なくしてユネスコなし。今、哲学しよう」とは、そのような意味ではないかと思えます。

Q：最後に一言どうぞ。

A：(1)今日は、皆様に毎年 11 月第 3 木曜日がユネスコの「世界哲学の日」であることをお伝えできて幸せでした。(2)フランスでは、文系・理系を問わず高校 3 年生全員に哲学の授業が必修で、哲学の勉強をし終わらなければ高校を卒業できないほど、哲学が大切にされています。日本では、哲学の基礎である「倫理」という社会科の科目を高校で学ぶ生徒は少なく、また、大学に進学しても哲学の授業を履修する学生は少ないといわれています。(3)自分の人生の目標をどのように考え、何を価値ある大切なものにするのか、どのように意味づけをし、どのように自分なりのルールをつくり、行動するのか。「価値」「意味」「秩序」など、哲学についてのキー・ワードを時々でも考えるのには、11 月第 3 木曜日の世界哲学の日を活用してくださいね。ちなみに、2017 年の 11 月第 3 木曜日は 11 月 16 日です。

2016 年 12 月 15 日(木)記
(宇都宮大学大学院工学研究所 客員教授)